

式次第

- 開会 13:30 司会：澤 一郎 (JIA 世田谷地域会幹事) 開会と進行案内
挨拶 13:35 柿崎豊治 (JIA 世田谷地域会代表)
講演 13:40 「前川國男がル・コルビュジエから受け継いだ思想とデザイン」
松隈 洋 (京都工芸繊維大学教授)
14:45 「新庁舎が示すべき世田谷区のビジョン」
石川公彌子 (駒澤大学非常勤講師)
休憩 (5分)
15:15 「使い続ける可能性について」
鏝坂 徹 (鹿児島大学教授・JIA 世田谷地域会)
報告 15:45 「本庁舎等整備検討の主な経緯について」
黒木 実 (JIA 世田谷地域会事務局長)
休憩 (10分)
パネルディスカッション・意見交換会 16:05 司会：野沢正光 (JIA 世田谷地域会顧問)
閉会 17:30
懇親会

松隈 洋 (まつくま・ひろし) 略歴

1957年兵庫県生まれ。1980年京都大学工学部建築学科卒業、前川國男建築設計事務所入所。2000年4月京都工芸繊維大学助教授。2008年10月同教授、現在に至る。工学博士(東京大学)。専門は近代建築史、建築設計論。2013年5月より DOCOMOMO Japan 代表。

著書に『ルイス・カーン』、『近代建築を記憶する』、『坂倉準三とはだれか』、『残すべき建築』、『前川國男 現代との対話』(編著)、『建築家大高正人の仕事』(共著)など。2005年「生誕100年・前川國男建築展」事務局長、「文化遺産としてのモダニズム建築—DOCOMOMO20選」展(2000年)と「同100選」展(2005年)のキュレーションの他に、レーモンド、坂倉準三、ペリアン、白井晟一、丹下健三、村野藤吾、谷口吉郎・谷口吉生、吉村順三など、多くの建築展の企画に携わる。文化庁国立近現代建築資料館運営委員。

石川 公彌子 (いしかわ くみこ) 略歴

1976年 東京都世田谷区生まれ

2001年 東京大学教養学部超域文化科学科卒業

2004年 東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了、法学修士

2008年 東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了、博士(法学)

東京大学大学院人文社会研究科 G-COE「死生学の展開と組織化」特任研究員、日本学術振興会特別研究員などを経て、現在、駒澤大学、明治学院大学、和光大学、愛知県立大学非常勤講師

『<弱さ>と<抵抗>の「近代国学」——戦時下の柳田國男、保田與重郎、折口信夫』(講談社選書メチエ、2009年)、共著『方法としての国学』(北樹出版、2016年)他論文多数

専門は日本政治思想史、政治学、死生学

世田谷在住